

JA共済杯 第53回全日本リトルリーグ野球選手権大会 大 会 要 項

大 会 趣 旨 本大会は少年少女たちの野球競技の普及発展と技術力及び競技のマナーの向上を目的として実施する。全国12連盟の大会予選を経て勝ち上がったリーグによる全国大会であり栄光に輝いたリーグには日本を代表するリーグとして米国で開催される世界選手権への出場権が与えられる。
さらに、スポーツ庁の後援を頂き、出場する選手に最高の名誉と誇りを持たせると共に全国のリトルリーグ選手と友情の輪を広げる。

- 名 称** JA共済杯第53回全日本リトルリーグ野球選手権大会
- 主 催** 公益財団法人 日本リトルリーグ野球協会
- 主 管** リトルリーグ信越連盟
- 後 援** 三井物産 産経新聞 サンケイスポーツ フジテレビジョン スポーツ庁 NBS長野放送
長野県 新潟県 上田市 各教育委員会 各県警察本部 (財)上田市体育協会
- 特 別 協 賛** JA共済
- 協 賛** すかいらーく
- 協 力** ミズノ 三井広報委員会 ぺんてる 日新航空サービス 共同写真企画
JA長野厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院
南長野医療センター篠ノ井総合病院
- 会 期** 2019年 7月19日(金) 開会式
20日(土) 1、2回戦
21日(日) 準決勝、コンソレーションゲーム
22日(月) 決勝、コンソレーションゲーム
7月23日(火) 予備日
- 会 場** 長野県上田市県営上田野球場、上田城跡公園野球場、HIOKIグラウンド
- 出 場 リ ー グ** 北海道、東北、信越、北関東、東関東、東京、神奈川、東海
関西、中国、四国、九州、以上12連盟の各優勝リーグに加えて
東北、信越、東海、関西の4連盟から各1リーグの合計16リーグとする。

参 加 資 格	参加リーグと参加選手は 2019 年トーナメント大会参加資格規定に適合したものに限る。 (注) リトルリーグ年齢 11 歳と 12 歳(日本独自規定) 生年月日 2006 年 9 月 1 日から 2008 年 8 月 31 日生まれまで
試 合 規 則	2019 年リトルリーグ・トーナメントルール並びに本大会特別ルールにより、トーナメント方式(勝ち抜き戦)で行う。1 回戦敗者同士と準決勝敗者同士によるコンソレーションゲームも優勝リーグは日本代表として 2019 年 8 月、アメリカで開催されるワールドシリーズ(世界大会)への出場権を得る。
登 錄	リーグの構成は選手 14 名以内、監督 1 名、コーチ 2 名の計 17 名以内とする。 試合開始時に選手が 11 名以下の場合は、最大 2 人の大人が監督・コーチとして指名されなければならない。
必 要 書 類	大会に出場する代表リーグは、登録選手が親または法定後見人と同居中であることを証明する居住適格性証明や年齢証明等、世界選手権出場の際に必要となる書類(詳細別紙案内)を予め準備し、全日本大会期間中にリーグ責任者が常に携行することを義務付ける。持参した書類は主催者から提示を求められた場合は直ちに応じなければならない。連盟は代表リーグの上記必要書類を事前に精査し承認する。 なお、必要書類の個人情報は厳重に管理されなければならず、リーグ、連盟が責任を持って対応する。
審 判	審判員は日本協会から、必要に応じて各連盟理事長宛に派遣依頼をする。各連盟理事長は、自連盟審判部長と協議して派遣する審判員を召集し、日本協会に通知する。大会審判長は日本協会(運営委員会規則・審判部)が指名する。
費 用	本大会に出場する代表リーグの経費は次の通りとする。 ①登録された選手 14 名以内と監督 1 名、コーチ 2 名の宿泊費(夕食・朝食付)は日本協会が 1 泊分と準決勝以降の宿泊分を負担する。 ②対応は開会式当日の 7 月 19 日(金)の夕食からで、勝敗に関係なく全リーグが 2 泊しなければならない。 ③昼食代は各リーグの負担とする。 ④出場リーグの交通費は支給しない。 ただし、遠隔地連盟(北海道、四国、中国、九州)代表には最寄り駅間の JR 片道運賃分を日本協会が補助する。 ⑤世界大会に出場する日本代表の渡航関連経費(パスポート、E S T A 取得、旅行保険等)と国内移動費、宿泊費はリーグ負担とする。
表 彰 規 定	表彰は下記の各項を授与する。 1. 優勝リーグには賞状、優勝旗、優勝杯、金メダル、記念ボール 2. 優勝リーグには賞状、準優勝杯、銀メダル、記念ボール 3. 3 位リーグ(2 リーグ)には賞状、トロフィー、銅メダル、記念ボール 4. その他のリーグには賞状 (注) 優勝旗、優勝杯、準優勝杯は持ち回りとし、翌年返還の際にレプリカを贈る。

宿泊	代表リーグの宿舎は主管連盟が確保し、日新航空サービス社が各代表リーグに斡旋対応する。
応援	リトルリーグベースボール憲章の精神にのっとり、リトルリーグにふさわしくない内容のものは禁止する。
リーグ管理	参加リーグは、必ず会長または会長を代行する責任者（監督、コーチ以外）が引率し、大会期間中、選手のすべての行動及びリーグ関係者の応援等について全責任を持ち、リーグの管理をしなければならない。責任者はリーグと同宿することが望ましい。また、宿舎では利用規約に違反した事項の責任は当該リーグが負わなければならない。
健康管理	医師の健康証明書によって健康が保証された選手でも、本大会に参加してから疾病等の理由で大会実行委員会がその選手の試合出場を不適当と判断した場合は出場できない。前記のような選手が多発してチームが構成できない場合は、その試合を中止して相手チームに勝利を与える。
傷害処置	主催者は大会参加の選手、指導者に対する傷害保険及び賠償責任保険に加入する。大会中、不慮の負傷疾病等に対して、主催者は応急の手当てを施す。また、役員および選手は、健康保険証（コピー）を必ず持参しなければならない。
試合運営協力	参加各リーグは当該試合のアナウンサー2名派遣及び試合前後のグラウンド整備5名を派遣し協力する。グラウンド整備に人数が揃えられない場合はあらかじめ主管連盟へ連絡すること。 コンソレーションゲームを行うリーグは、当該リーグ間でグラウンド整備を実施するとともに、グラウンド責任者の指示に従うこと。 参加各リーグはリーグ旗を持参すること。リーグプラカード、及び連盟大会の優勝旗は不要。リーグプラカードは持ち帰り禁止とする。
問い合わせ	大会規則、運営・案内等で問い合わせがある場合は事前に文書またはメール添付で下記連絡先に提出すること。 主催：公益財団法人 日本リトルリーグ野球協会 info@jllba.com 主管：リトルリーグ信越連盟 事務局 山口 yamamasa@ivory.plala.or.jp
その他	大会中、不測の事態が発生したときは主催者と当該者の間で速やかに措置するものとする。

以上